

# 大阪・関西万博の建設現場における安全対策について(事例紹介)

(第2回人権ワーキンググループ資料より抜粋)

公益社団法人 2025年日本国際博覧会協会 企画局 持続可能性部

2024年10月16日 第11回持続可能な調達ワーキンググループ

## 1. 建設現場における安全・暑熱対策について(北東工区) 第2回人権WG資料 抜粋

- (1)基本方針について(所長方針)
  - ・決めたルールを守る信念
  - ・危ないと思ったときに発言する勇気
- ・危ないと思ったときに立ち止まる勇気
- ・命を守る思いやり

#### (2)事故防止対策

- ①作業員の適正配置・・・経験年数や高齢者の作業制限、高血圧や私病の配慮
- ②新規入場者教育・・・・動画などにより多数ある現場ルール教育を実施
- ④場内配置図・行先案内の設置・・・工事動線を区画することで車両接触を防止等
- ⑥ビジネスチャットの活用・・・・火気作業、メタンガス濃度など所内共有
- ⑦ルール違反者への対応 ・・・違反 2 回で退場処分
- ⑧その他・・・災害発生訓練の実施、重機接触防止、カメラ認証等を実施

#### (3)熱中症対策

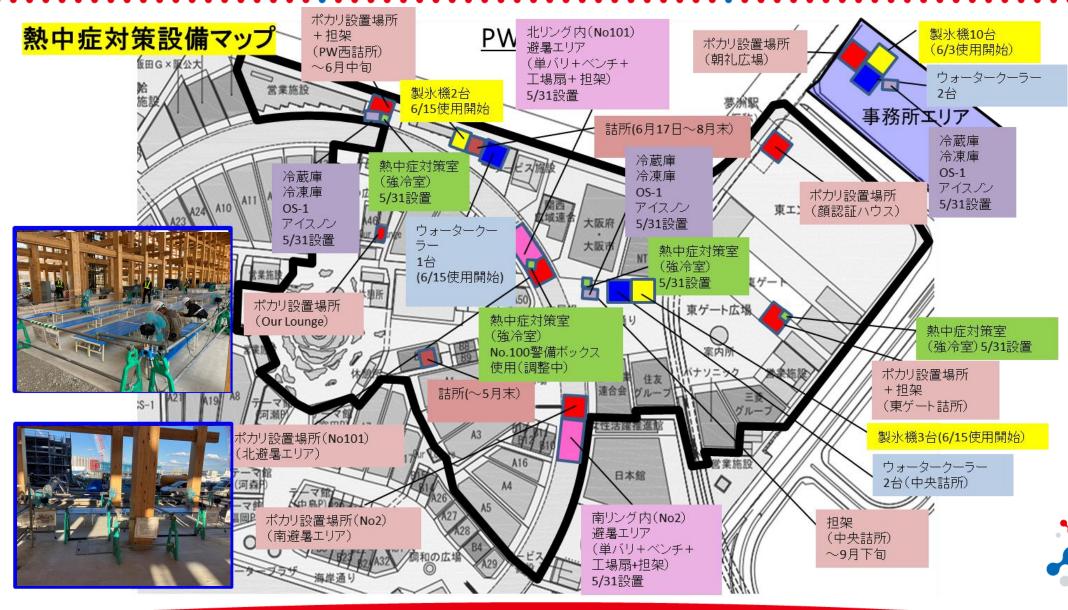
- ①休憩所の増設・・・簡易休憩所及び詰所 (2か所、250名収容、空調完備)
- ②水分塩分補給 ・・・ポカリスエット補給所、熱中飴の設置
- ④緊急時対策・・・熱中症対策室の設置、緊急資材の配備、緊急車両の配備
- ⑥熱中症予防教育・・・産業医や社員による熱中症対策講座
- ⑦熱中症防止装置・・・暑さ指数ウォッチャーとビジネスチャットの連携、熱中症ウォッチの運用
- ⑧その他・・・着座による朝礼、熱中症防止責任者の任命、災害発生訓練の実施

#### 【測定器】



### 【詰所】





# 3. 事故件数について(PW北東JV工区のみ)

(1) 2023年度の事故件数 不休災害のみ 2件(うち熱中症1件)

### 【事故概要】

鉄板を用いた作業中に、安全手袋と作業服の間に鉄板が触れたことによる切り傷。

(2) 2024年度の事故件数(10月1日現在) 不休災害のみ 3件

### 【事故概要】

全て熱中症。



### 4. 他の工区の実施状況について

### 【南東工区】

誰でも使用可能な製氷機、ウォータークーラー及び自動販売機を設置している。

またコンビニ、休憩所の設置、工事用動線への散水車の往来による土煙対策等により、施工環境の改善に努めている。

### 【西工区】

他工区同様、西工区でも職人や社員など誰でも利用可能な仮眠室(たたみ部屋)衛生的なトイレ・シャワールームを設置、自動販売機にてポカリスエットを安価で提供(差額はJV負担)、現場事務所内へのコンビニ誘致、移動式コンビニ、移動式トイレの運用など、現場で働く方の目線での施工環境改善に努める事により安全対策に寄与している。

### 【GW工区】

GW工区では、職人や社員など誰でも利用可能なリラックスルームを設置(自動販売機や製氷機、スポットクーラー、ポカリスエット、塩分タブレットを提供)し、移動式の休憩所としてエコソーラーCARを設置(工事の進捗にあわせて現場内を移動)するなどの対策を行っている。

また、工事用動線への散水車の往来による土煙対策等により施工環境の改善に努めている。